



# ニュースレター



事務局: TEL.095-820-4978 FAX.095-820-4377 ホームページ <http://www.nagasaki-vs.jp>

## 「被害者の心情に思いを寄せて」

長崎短期大学教授(センター役員)中野 明人



平成19年の暮れも押し迫った12月14日、佐世保で銃撃乱射事件が起こりました。長崎県では長崎市長が射殺されるという事件がおこったばかりで、その衝撃も冷めやらないうちの凶行に多くの人が不安を感じました。

犯罪によって、それまで平穩に生活していた人々は、突然それまでの平穩な生活を奪われます。特に被害直後は多くの混乱から危機的状況に追い込まれます。その状況は、それまで全く経験したことのない、想像すらしたことの無いことの連続ですので、それまでの

日常とかけ離れた困難が、多くの人たちを苦しめます。

愛する家族の命を奪われた遺族は、本来であれば喪失感や絶望感でいっぱいなのですが、そんなことを感じるゆとりもなく、葬儀の準備や、警察などの捜査に協力をせざるをえません。マスコミへの対応に苦慮することもしばしばであり、次から次に難題が被害者や遺族に降りかかってきます。けがをした人々も同様ですが、生き残ってしまったことへの罪悪感、けがそのものからくる痛みや苦しみなど、さらに違った苦しみも持つともいえます。

そして少し事件から時間が経過する中で、被害者や遺族は違和感を感じていきます。その違和感はだんだんと人が離れていくような感じだと思えます。周囲にいた人が次第に少なくなることで「人が離れていく」感じを受けたり、また周囲の人との意思のずれから「わかってもらえない」という気持ちが強くなり、それが違和感になっていきます。

この違和感が強くなると、長い間、社会的に孤立したような気分で苦しんだり、時には生きる希望を失うことにもつながります。

被害者支援センターとしては、事件直後の直接支援も重要なのですが、こういった少し時間が経過した後こそ大切な役割があると思います。

「わかってもらえた。」少しでもそんな想いが被害者や遺族に生まれれば、それが支援のスタートだと思えます。さまざまなサービスを提供することが支援の中身ではありますが、その根底には相互の信頼関係が必要になります。いくら豊富な支援のメニューがあっても、信頼関係なくして被害者や遺族の回復はありません。私たちは、被害者や遺族が本来持っている「生きる力」を尊重し、信じることを通して、回復への道筋を見守っていくこととなります。時には背中を押すようなこともあります。被害者や遺族の自己決定については最大限尊重し、自らの力で回復の途につけるように支えてゆくことが大切です。

「わかってもらえた。」と思ってもらえるためには、私たちももっともっと被害者や遺族の気持ちを思いやり想像する必要があります。被害者や遺族の心情は、他者にそう簡単にわかることができないものであるとしても、私たちが「わかって」と努力することに意味があり、その努力のプロセスにおいて、被害者や遺族と支援者に信頼関係が生まれるのだと思います。そういう意味では被害者支援にはゴールはありません。いろいろな被害者や遺族のみなさまのお話をお伺いし、教えていただくことで、信頼関係につながる何らかのヒントをいただくことができると思えます。

少しでも被害者や遺族のみなさんが、「わかってもらえた。」と実感できるような環境作りも被害者支援センターの大切な仕事の1つです。一人でも多くの方々に理解を深めていただくことが、その環境作りの基礎となります。今後とも被害者支援につきまして、ご理解、ご支援をお願いいたします。

電話  
相談



**(095)-820-4977**

毎週火～土曜日/10:00～16:00

秘密厳守  
相談料無料

面接相談: 電話相談の上、予約が必要となります。必要に応じて弁護士・臨床心理士の面接相談も行います。

## 平成19年 下半期活動報告

### 広報宣伝活動

- 8月24日 対馬市内／地域別相談会
- 9月7日 大村市内／地域別相談会
- 9月19日 警察音楽隊プロムナードコンサートでの広報チラシ配布
- 10月11日 第35回日本精神科病院協会精神医学会会場でのパネル展示
- 10月12日 平成19年度地域安全・暴力団追放運動



安全・安心まちづくり長崎県大会会場でのチラシ配布・パネル展示

### 10月13日 「犯罪被害者有志の会による人形劇会場での広報活動」 —人形劇「悲しみの果てに・絶望」の観客感想—

劇を観て、事件で幸せな家庭が一瞬のうちに崩れ、誰の身にも起こると思った。演者が被害関係者と聞き、いたたまれない気分になりました。事件後の家族・遺族を想像したことが無く、今回初めて知りました。



マスコミが被害者からスクープを得るための取材活動が、逆に被害者に2次被害を与えていることを世間にもっと知らせるべきではないか。



裁判での被害者側立場をはじめて知った。人形劇後の演者一人一人の話を聞き涙が出ました。

国の司法制度に怒りを感じた。被害者及び関係者の権利と人権と、精神面・経済面への援助の法制が必要。人形劇で法の矛盾を知ることができた。



被害者であるのに犯罪者以上に立場の悪い状態に追い込まれる事ははじめて知っていたが、実際に生の声を聞かせて頂き、胸のつぶれる思いになりました。大変分かりやすい内容で気持ちも良く伝わりました。多くの方に観て頂きたいです。

### 11月21日 犯罪被害者週間キャンペーン



長崎駅前にて、パネル展示・広報グッズ配付。



## 皆様からのご協力に心より感謝申し上げます。 協力者芳名

芳名掲載をご承頂いた方、団体、順不同、敬称は略させていただきます。  
また、重複掲載を避けました。平成19年4月1日から平成20年1月31日現在。

### 正会員

長崎市 安部俊二 岩永眞智子 大塚俊弘	太田保之 河井耕治 川添 志 清野直之	塩塚志郎 瀬戸口智彦 永田吉明 日野出悦子	前田和明 松永公隆 梶保博 佐世保市	中野明人 鹽仙市 (医)伴節子愛野 記念病院	南鳥原市 本田麗一 五島市 山本美子	長与町 荒木かをり 山口佳英
------------------------------	------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-----------------------------	----------------------

### 賛助会員(個人)

長崎市 石丸アサ子 石丸太郎 伊東蓮彦 今井忠之 楢松俊徳 大坪善昭 小川久好 大坪善徳 藤原行雄 鈴木弘之 田中一雄	高田英敏 田中紀男 西津ヨシ子 野田照雄 野田美津子 平石美希子 益田耕作 松本重明 丸木寛誠 深山和子 目良公子 佐世保市 井上哲朗	鈴木尚彦 宮原裕子 鳥原市 鎌ヶ江智一 古瀬太一 平野規彦 本田文博 宮崎宏延 山本薫五郎 藤原市 荒川明雄 濱崎孝 興村秀子	大宮洋一 尾下進 小駄蓋一 小林靖明 佐藤久子 志波慶一 谷口依蔵子 八戸政文 増永恵以子 森城司 小野由利子 大村市 岡崎啓	宮田雄吾 平戸市 浦田薫 鞍浦市 伊吹英展 小村信和 西海市 西村金造 濱田博之 三浦晋 鹽仙市 伊藤正昭 佐藤公泰	南鳥原市 岡本三郎 高木良久 松本伸生 小川正幸 久保真一郎 時津町 川内治利 山本真志 黒崎勇 新上五島町 築地盛助
--	---	---	---	--	--

### 賛助会員(団体)

長崎市 履座業師 朝イヅミ夢彩都長崎 浦上地区金鷲徳興防犯協会 浦上地区交通安全協会 大浦地区金鷲徳興防犯協会 第9電工長崎配電工事営業所 徳和産業師 (医)星和会矢上藤尾大坪外科学腫瘍科 長崎制御システム師 第テレビ長崎 長崎県医師会 長崎県市師 (社)長崎県警友会連合会 (財)長崎県交通安全協会	(社)長崎地区交通安全協会 長崎自動車師 長崎船舶技術師 長崎全日空ホテルグループバービル 長崎電気軌道師 長崎市遊技場組合 朝にしけい長崎支社 浜市商店連合会 朝ひろたか ホテルニュー長崎 マツハヤ師 浦上地区地域生活安全協議会 大浦地区交通安全協会 長崎設計師 長崎市医師会	長崎文化放送師 長崎西ロータリークラブ 西日本登壇興産師 佐世保市 神橋高 佐世保地区安全運転管理協議会 佐世保同郷協同組合 西部ガス師佐世保支店 佐世保地区自家用自動車協会 (社)佐世保自動車協会 佐世保青果師 佐世保市タクシー協会 佐世保駐車場協会 佐世保地区防犯協会 神親和銀行総務部
--	---	---

## 支援の現場から

被害者を支援する相談員はどうあるべきか。全国研修、九州ブロック研修、センターの研修会と、学べば学ぶほど難しく勉強が足りない中で、現実には被害者を支援を待っている状況である。

こういう状況の中で、一本の電話から支援が始まる。

センターで話し合い、直接会って話を聞くことになる。声だけでしかお互いを知り得ない中で、支援員の緊張もかなりだが被害者をもってである。電話をかけるまでに、「かけようか、やめようか」と、何回思った事だろう。そして会う約束をした前日は、自分の気持ちが支援員に解ってもらえるだろうかと、不安な一夜を過ごしたかもしれない。支援員は被害者の色々な思いを想定して会うのだが、中には自分の感情を今まで誰にもぶつけないこと、我慢していただくためか、感情的になられることもある。また不安で、心配で、何回も電話されることもあるが、それは当然であって一人一人感情の出し方は違うのである。

それを支援員は丁寧に話を聴き、寄り添っていく。そして本来の自分を少しでもとり戻されるのを感じとれるようになる。支援員にとってはホッとする瞬間である。

支援員としては当然の事をしたままであるが、「少し楽になりました」と言われると、今さらながら支援の必要性を感じる。

まだまだ未熟であるが、これから多くの事を学び、1日も早く被害者の方が被害に遭う前の日常生活に戻られるのを願いながら、支援を続けていこうと思う。



第一生命労働組合佐世保支部  
長崎共和館  
(社)長崎県建設業協会佐世保支部  
西九州信用金庫  
早岐地区安全運転管理協議会  
島原市  
錦山水  
(社)島原市医師会  
島原市交通安全協会  
島原地区自家用自動車協会  
島原青果卸販売所  
(社)島原南高産科医師会  
鶴丸水産  
(台)山本薬本店  
藤早市  
藤早市警察官友の会  
藤早ケーブルテレビジョン放送局  
藤早商工会議所  
藤早市農水産物追放運動推進協議会

黒木建設  
たちばな信用金庫  
(社)長崎県建設業協会藤早支部  
(医)横尾病院  
西川建設  
対馬市  
対馬北地区警察官友の会  
対馬南地区沿岸漁協  
対馬南地区交通安全協会  
五島市  
五島市警察官友の会  
(社)五島市交通安全協会  
下五島遊技場組合  
長崎県行政書士会五島支部  
高海市  
黒崎建設  
西海警察署  
壱仙市  
(医)英仁会有明保養院

九州フコール製造  
錦長崎清水  
錦にくせん  
南島原市  
南島原市防犯協会  
長与町  
メモリードグループ総合本部  
時津町  
(医)光善会長崎百合野病院  
錦長崎ロードサービス  
青島子園  
川郷町  
川郷地区金融機関防犯協議会  
川郷地区警察官友の会  
川郷地区交通安全協会  
常在寺  
佐々町  
錦郷和テクノ

#### 寄付(個人・団体)

長崎市  
福友会  
福佐警察署警務、会計課  
福佐警察署警務会  
浦上警察署  
旧東長崎署松尾屋  
田中圭介  
田中紀男  
田平祐子  
本田剛  
島嶼会計サービス  
(医)長崎県警察聴覚補助会  
長崎警察署  
長崎地区警察官友の会  
県署犯罪被害者支援室  
長崎北ロータリークラブ  
長崎ロータリークラブ  
錦平和町駐車場  
長崎県道授業(協)  
県警本部交通部交通機動隊  
横田実  
佐世保市  
佐世保市警察官友の会  
福元殿  
島原市  
小島史郎  
TwoBees片山昌  
安永弘幸

藤早市  
アシュアズメントパレスイグル  
青明商事  
池田光利  
岩修一税理士事務所  
藤早ロータリークラブ  
藤早まるみつ  
藤早まるみつ2号店  
藤早遊技場組合  
輪フエノ安全協議会  
輪フエノ安全協議会会長大戸克弘  
錦崎電機工業  
駅前タイガー  
北尾はるみ  
木下秋美  
銀玉ブティックひばり藤早店  
寿パチンコ  
寿ばちんこ  
(社)しらぬい福祉会  
センターフイオン  
センターフイオン東藤早店  
タイガー貝路店  
タイガーバイパス店  
藤早観光ホテル遊具屋  
パーラーTAKARA  
パーラー宝ワールド  
フェスタ森山店  
フェスタ山店

松原光男  
山田光好  
山田石畑  
友苑ホール  
ワンダーランド藤早店  
平戸市  
林協病院  
香城市  
香城警察署  
西瀬市  
錦本橋  
西村金造  
山口高志  
壱仙市  
徳和泉屋  
島原登山農業協同組合  
三貴工業  
錦長崎清水  
南島原警察署警務会  
時津町  
黒崎病院  
東彼杵町  
奥川良三  
新上五島町  
錦坂本組  
新上五島警察署  
JAごとう上五島支店

#### 相談員となつて

相談員となり5ヶ月が過ぎました。私たちの周りには、事件・事故があふれています。いつ自分たちが巻き込まれるか分からないのです。

私が被害者支援の活動を始めたのは、私自身が愛する人を亡くし、備つき悲しみ苦しみ、混乱した状態の時に何も言わず求めずに助け支えてくれる人たちがいてくれ、不幸な出来事ではあつたけれど、そこから多くのことを学びました。この経験がきっかけのひとつとなりました。「人に頼っていいんだ。人は助けてくれるんだ。こんなに温かい気持ちになれるんだ」と教えてもらいました。この気持ちを忘れずに、いつか人のために私自身も助け支えてあげたい、何か役に立ちたいと考えるようになりました。

これまでの経験を通して、いざという時にこそ、人と人との信頼関係やつながりが大切であること、私自身が人の優しさに触れたからこそ、人への理解、共感の大切さを改めて強く感じました。

人は傷ついた心を自分で癒す力を持っていると信じています。被害者が混乱した状態から気持ちに折り合いをつけ、元の日常生活に戻っていけるよう、自立していけるよう、支援者が寄り添って一緒に考え、解決していく支援を心掛けています。

最後に、今、実際に被害に遭われて苦しんでいらっしゃる方、そうでない方も、多くの方にこの支援活動を知って頂いて、皆さんのご理解とご協力を頂けたら幸いです。

講演活動

- 10月30日 佐世保学園での講演活動
- 12月10日 長崎県立長崎工業高等学校「飲酒運転の根絶」講演
- 12月14日 長崎市立横尾中学校校人権集会での講演

— 学生の感想一部抜粋 —



TVやマンガの中でなく、長崎にも集団リンチ事件が起こっているという事を実感しました。

リンチ事件の後の出来事は、初めて聞いて予想以上にすごいものだった。

私は、被害者にも加害者にもなりたくない。



被害者の肉体的な痛み(暴行後の顔の腫れなど想像するだけでソッとします)はもちろん精神的にも人と会うのが怖いなど強いショックを受け、すごく辛かったと思います。

何かあったら、助けてくれる場所や電話相談などがあるということを知りました。

研修  
養成等

- 7月9日～12日 「被害者支援セミナー」  
長期就勤可能で指導的立場の支援員の育成(3名参加)
- 7月28日～29日 「九州地区直接的支援セミナー」(於:熊本県1名参加)
- 8月25日 第6期 支援ボランティア養成講座終了
- 9月6日～13日 カナダ警察と民間被害者支援組織の活動調査研究  
全国被害者支援ネットワーク派遣依頼で1名(九州研修委員)参加
- 9月7日 第7期 支援ボランティア養成講座開講
- 9月28日～29日 全国被害者ネットワーク秋期研修会
- 11月17日 NPO実践講座「税務講座」(2名参加)
- 12月11日～12日 自助グループ連絡会議(2名参加)



相談員継続研修会(7～12月 毎月1回開催)

開催月	内容	スーパーバイザー
7月	交通事故被害者事例	自賠償調査役 朝倉 義信
8月	相談員としての姿勢	弁護士 河井 耕治
9月	交通事故遺族の講話	被害者遺族
10月	相談事例研修	弁護士 塩飽 志郎
11月	相談事例研修	弁護士 塩飽 志郎
12月	安眠者等からの電話対応要領	臨床心理士 前田 和明

## 20年度の主な活動のお知らせ

### 犯罪被害者等のための講座と地域別相談会

#### ご案内

平成20年度は被害者のための講座（一般者も受講可能）と地域別相談会を同日・同場所にて開催することを決定!!

場所：佐世保市内・五島市内

日時：未定  
（後日センターホームページ、携帯サイト、市町の広報誌等で案内予定）

犯罪被害を支援する臨床心理士等が被害者のおかれている現状実態の講演と、被害者の方々が日頃かかっている、被害者になっての心構え、不安、悩み、忘れられない思いなどを、自由に話したり、同じ被害者の気持ちを聞いたりできる講座です。また、少しでも被害者の方の気持ちを知りたい、支援したい方のための講座です。その後、被害者を対象とした弁護士、臨床心理士、支援相談員等による【個別相談会】を開催いたします。是非、ご参加下さい。（センター賛助会員の方/寄付者の方のご来場も歓迎いたします。）



中学・高校生を対象とした「心と命」の大切さを培う講演活動を行います。

#### 一 長崎県犯罪被害者等支援計画関連事業 一

- 目的
- 1) 被害者の実態を理解させる人権教育
  - 2) 子供を被害者・加害者にさせない命の大切さの醸成
  - 3) 被害者も加害者もない安全で安心なまちづくり

実施対象 県内の中学校・高等学校生徒（私立の中学・高校生含む）

内容 講演（犯罪被害者及遺族等、弁護士や臨床心理士、センター支援相談員、長崎県警察）、犯罪被害後の実態を盛り込んだ人形劇ビデオ上映などを行う予定

実施計画 毎年概ね36校程度を巡回訪問し、講演会などを継続実施していく。

NPO法人長崎被害者支援センターは[長崎県警察・長崎県]と連携を取りながら支援を行っています!

NPO法人長崎被害者支援センターは、県警ホームページ及び長崎県犯罪被害者等支援計画に「民間の被害者支援団体」として紹介されています。また、平成20年度末を目標に長崎県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けるべく準備を進めています。

## 賛助会員募集

長崎被害者支援センターの活動を支援くださる賛助会員を募集しています。

私たちの活動は、賛助会員の会費や寄付金で成り立っています。ご賛同いただける新規会員の入会まはご寄付をお待ちしています。

賛助会員（年会費）

個人 1口 年3,000円  
団体 1口 年10,000円（何口でも結構です）

振込口座（郵便振替）

口座番号：01730-8-102986  
加入者名：長崎被害者支援センター

\*\*\* ご寄付は、金額にかかわらず随時受付けております \*\*\*  
（会報へのご芳名掲載を希望されない方は、送付欄にその旨記載をお願いします）



<http://www.nagasaki-vs.jp/keibi/>